

鹿児島大学での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00

場所:鹿児島大学 総合教育研究棟102講義室

※ 平成27年度 第7回目

平成28年1月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島大学 男性	<p>① 千日町の再開発についてのワークショップでは、タカプラ跡地に広場を整備する場合、どのような広場が適しているか検討を行い、大きく分けて2つの意見がでた。一つ目は「ランドマーク的なようなものを作って市民に親しみやすい場所を作る」、二つ目は「季節や流行などにあわせて形を変えられるような広場にする」といったものだ。</p> <p>広場にする場合は、床を芝にして植木鉢を置いたりすることで、明るい緑のイメージになるようにした方がいいと思う。再開発は、基本的に民間の方々が作っていくものではあるが、市として対応ができるようなことがある場合は、検討してほしい。</p> <p>そのほかにも、天文館はお店がたくさんあって分かりづらいので、案内所を設置して欲しい。</p>	<p>① 千日町1・4番街区の再開発は、地元の方々が、いづろ・天文館地区の活性化の計画となるように進めています。</p> <p>鹿児島市としても、本市の再開発としての観点から、地元の方と意見交換を行い、今後の天文館地区を活性化するために、本市の役割・立場を踏まえながら情報交換を行っているところです。</p> <p>ご提案頂きました内容につきましては、地元の方々が集まる検討会の場などでお伝えしたいと思っています。</p> <p>また、緑を増やした方がいいとお話ですが、鹿児島市では壁面緑化など鹿児島市全域の緑化を進めておりますので、千日町1・4番区についても、緑化が進められるような対応をして頂ければと考えております。</p> <p>案内所につきましては、おつきやびらもーるアーケード内に「天まちサロン」を設置しており、出来れば、同じようなものを千日町にも設置していければと思います。</p>	経済局 建設局	<p>【経済局】 市長回答のとおり</p> <p>【建設局】 ワークショップでご提案いただいた内容について、地元の方々にお伝えしたところ、今後の参考にされるということでございました。</p> <p>今後、本市としましても、事業の実現に向け、地元の方々とともに取り組んでまいりたいと考えております。</p>
2	鹿児島大学 男性	<p>② 鹿児島市のゴミ減量化を進めるために、「ゴミ袋の有料化」について提案したい。</p> <p>有料化の仕組みだが、例えば、月初めに世帯の規模に応じて無料配布し、不足する分を購入してもらうという形にすれば不公平感も少なく、ゴミの削減や分別を意識する契機になると思う。</p>	<p>② 鹿児島市もゴミの分別を進めており、出来るだけゴミ減量やリサイクルを進めようと取り組んでいますが、なかなか減らないところが現状です。</p> <p>現在、焼却施設や埋め立て施設もありますが、これからゴミが増えると、それらの施設がさらに必要となり、様々なコストも増大することが予想されます。そのため、出来るだけゴミを増やさない、有効活用するといった取組が必要だと考えていますが、ご提案頂いた意見も、そのような取組みへの視点の一つではないかと私自身も考えています。</p> <p>しかしながら、「ゴミ袋の有料化」については、他の自治体でも様々な論議があり、ゴミを出すための料金設定も大きな課題になってくると考えられるため、市としても、有料化がいいのか、今のままがいいのか、しっかりと検討しなければならないと感じています。</p> <p>また、鹿児島市には清掃事業関係について、諮問を行う「清掃事業審議会」がありますので、審議会の中で、そのようなご提案を頂いたことをお伝えしたいと思っています。</p>	環境局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島大学 女性	③ ごみが増加する原因の一つであるレジ袋を減らすための取組として、スーパーのレジ袋の大きさを少し小さめのサイズに統一することを提案したい。レジ袋が小さくなると、購入量の多いお客さんは、持って帰る袋の数が増えて持ちにくくなるので、マイバッグを持参する人が増え、結果レジ袋が減ることになると思う。また、この取組を実行する場合、行政主導で行うことで、より強制力のある取組になると思うが、そのような取組を行政が中心となって取組むことは可能か。	③ レジ袋の削減は、地球温暖化防止やゴミの減量化の施策として、大変有効だと思います。 行政といたしましても、これまで、ゴミ削減に対する意識を変えるために、マイバックの持参について、レジ袋の使用が少なくなるように積極的に取り組んでいるところであり、少しづつ効果が出てきているものと考えています。 しかしながら、まだまだレジ袋を使うお店も多いように思われます。その理由としては、それぞれの事業者の顧客サービスの在り方であったり、レジ袋を止めても、再度、お客さんの要望により、レジ袋の配布を始めたりしたこと等があるようです。 ゴミ袋の大きさを統一するという事は、それぞれの企業の経営戦略に依るところが大きいので、ご提案頂いたような対策に踏み込むことは難しいかもしれませんが、行政として、マイバックの持参については、しっかり広報をしていかなければならないと考えています。	環境局	市長回答のとおり
4	鹿児島大学 女性	④ 市議会は学生にとって、あまり身近に感じられないといった意見があった。学生に市議会を身近に感じてもらうには、たとえば、市議会を視聴するためのテレビ(カフェビジョン)を大学内の学習交流プラザに設置し、生中継ではなく録画でも構わないので、放映してはどうか。 学習交流プラザは食事だけでなく授業の空コマの時間に学生が多く集まるので、多くの学生が触れることができると思う。	④ 本年から、選挙権も18歳に拡大にされることから、学生のみなさんが、国政・県政・市政について、参画してまちづくりを積極的に進めることは、ますます重要になっていくと考えています。 特に、市議会の状況等について、触れられることが重要であると考えておりますが、現在、本会議の状況につきましては、市のHPで放映されており、質疑の概要については、広報紙の「市議会だより」で知ることができます。 ご提案頂きましたカフェビジョンを設置し放映できるかということについては、大学との協議が必要となりますが、もし、設置できるとするならば、多くの学生にとって、より身近に市議会を感じてもらえることになると思います。	議会事務局	本会議の中継・録画については、現在、インターネットで配信しており、パソコンで視聴できるほか、本庁・各支所のロビーに設置しているテレビモニターでも中継をご覧いただけます。 学生の皆さんを対象としたカフェビジョンについては、市の施設以外に設置する場合の管理運営等の面から困難と考えますが、現在、より多くの市民が本会議を視聴できるように、スマートフォンやタブレット端末での配信を検討しているところです。 今後とも、開かれた市議会に向けて情報発信に努めていきますので、多くの学生に本会議をご覧いただき、議会への関心と理解を深めていただきたいと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島大学 女性	⑤ 県外から訪れる観光客やビジネスマンから、公共交通機関が分かりづらいと聞いたことがある。県外の人には「交通ナビかごしま」のサイトが便利だと思うが認知度が低い。鹿児島市を訪れる観光客が知っていれば便利だと思うので、たとえばバス停や観光案内板等にサイトのQRコードを載せて周知・広報はできないだろうか。 また、「交通ナビかごしま」と、タウン情報誌・観光情報誌との連携はできないだろうか。	⑤ 「交通ナビかごしま」は、県や関係市のほかに、交通事業者等で構成される県公共交通総合案内システム運営協議会で運用されています。 「交通ナビかごしま」のQRコードにつきましては、鹿児島中央駅東口駅前広場バス乗り場案内板でこれまでも周知・広報を図っておりますが、バス停にQRコードを標記することにつきましては、同協議会にご意見のあったことをお伝えしたいと思います。 また、交通局においても、ホームページにリンクを貼って周知を図っているところであり、公共交通の関係機関と連携を図りながら、観光客の利便性を向上させていきたいと考えています。 その他にも、観光案内所で配布しております観光パンフレット「旅ガイド鹿児島市」にも観光施設へのアクセスを含めて、交通公共機関の情報を掲載しておりますが、より一層詳しく正確な内容にしたいと考えています。	企画財政局 経済局 交通局	市長回答のとおり
6	鹿児島大学 女性	⑥ 県外から友達が遊びにきたときに、どこに連れていったらいいか分からない。鹿児島中央駅には観光案内所があるが、案内されている方の年代が違うため、話をききづらいことがある。現在は案内担当の方は若い人が多いようだが、様々な世代の方がコンシェルジュとしていれば、聞きやすいと思う。	⑥ 素晴らしい視点からのご意見をいただきありがとうございます。 鹿児島市では、鹿児島中央駅、観光交流センター、天まちサロン、桜島港フェリーターミナルの4箇所に観光案内所を設置しており、桜島フェリーターミナルを除く3つの観光案内所では、20代から50代の9名でローテーションを組んでご案内をしています。 今後は、ご提案頂きました意見を踏まえて、様々な年代の方や外国人観光客によりよい案内ができるように工夫をしていきたいと考えています。 また、観光客の世代等に応じて、ある程度ローテーションが組むことが出来ればと考えています。	経済局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鹿児島大学 女性	⑦ 現在、市電の終電時刻が22時台であり、年末の期間に限定して最終時刻を延長する取組が行われているが、バスについては難しいと思うので、市電のみをオールシーズン、金曜日と土曜日のみ、深夜1時を天文館の最終時刻としてほしい。都会でも行っているように運賃は深夜料金を引き上げてもいいので、ぜひ検討してほしい。そうすることで、社会人や大学生がもう少し長い時間、天文館で食事をすることができ、地域経済の活性化も図られると思う。	⑦ 深夜の市電走行については、バスなどに比べて騒音が課題になってくるかと思えます。特に軌道敷に近接したマンションなどが数ヶ所あり、そういったところへの対応が課題となっているため、苦慮しているところです。 現在では年末に限って、市電の終電時刻を延長しているところですが、オールシーズン遅い時間まで運行すると、そのような課題を解決しなければならないと思えます。 そのほか、運転手の確保であったり、終電時刻を延長することの経済的な効果、効率性について、検討をしていかなければならないと考えています。 一方で、終電時刻が延長されるならば、天文館や中央駅で遅くまで食事をされる方々の利便性が図られることになり、街の経済対策に繋がることと思えますが、企業体である交通局の経営戦略として可能か、今後の課題でありますので、意見として交通局にお伝えしたいとおもいます。	交通局	経営戦略として、どの程度の需要の拡大が見込まれるのか、また、騒音・専用軌道の踏切等の課題を含めて、検討したいと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	鹿児島大学 男性	<p>⑧ 一日乗車券を使えるバスと使えないバスが分かりにくいいため、バスの横に電光掲示板等で表示したりすることはできないか。</p> <p>一日乗車券に「交通ナビかごしま」のQRコードを載せて、利用者の利便性を向上させることはできないか。</p> <p>京都のように一日乗車券のほかに、二日乗車券など発行し、観光客が鹿児島に長く滞在してもらえるような取組はできないか。</p>	<p>⑧ 交通局では、一日乗車券を利用可能なバスを判別できるように、券の内側に車両の写真を掲載していますが、なかなか分かりづらいと言ったこともあるかもしれません。外側に掲載することが出来ないかといったお話も頂きましたので、交通局へお伝えしたいと思います。</p> <p>また、京都市では、一日乗車券・二日乗車券の判別が出来るように工夫されているとのことですので、鹿児島市も明確に判別、利用できるように工夫していただければならないと思います。</p> <p>二日乗車券につきましては、観光案内所等で市電・市バス・桜島フェリー・桜島アイランドビューが何度でも利用できる「キュート」、及び外国人観光客向けの「ウェルカムキュート」を販売しております。</p> <p>内容が分かりやすくなるようにしていくとともに、できるだけ滞在していただけるような工夫もしていかなければならないと感じています。</p>	経済局 交通局	<p>【経済局】 市長回答のとおり</p> <p>便利な共通利用券「キュート」「ウェルカムキュート」について、引き続き宣伝広報に努めてまいります。</p> <p>(キュート・ウェルカムキュートの補足説明) ・購入できる場所 鹿児島中央駅総合観光案内所、観光交流センター、鹿児島港乗船券発売所、桜島港船舶局営業課窓口、天まちサロン、鹿児島まち歩き観光ステーション、交通局内乗車券発売所、市役所前乗車券発売所 ・1日券、2日券の表記について 現行のキュート及びウェルカムキュートの表面には、目立つように「1日」、「2日」と明記しているほか、1日券は「緑色」、2日券は「ピンク色」に色分けして作成</p> <p>【交通局】 現在発行している一日乗車券については、券面表紙を活用して交通局舎移転や世界文化遺産に登録された明治日本の産業革命遺産等のPRを行っており、利用可能な車両の写真については券面内側に掲載しているところです。 利用可能な車両の分かりやすい表示や「交通ナビかごしま」のQRコードの掲載については、今後、新たな一日乗車券を製作する際に検討していきます。</p>
9	鹿児島大学 女性	<p>⑨ 市電は、進行方向の両替機でしか両替出来ないが、混んでいる時不便だったりするので、後ろの両替機も使えるようにしてほしい。</p> <p>そうすることで降車時に両替をする人が減り、出入口の混雑が緩和され、車内での乗客の移動がスムーズになると思う。</p>	<p>⑨ 交通局で、電車の切り替え、内装の切り替えを行うときに、両方の両替機が利用できるように交通局へお伝えしたいと思います。</p> <p>利用者の皆さんの利便性を考えると、そのような方向性も必要ではないかと考えています。</p> <p>ただ、既存の電車で改装して、両方の両替機が使えるようにすると、大変、お金が掛かってしまいますので、電車全体の切り替えのときに、使えるようにしていければと思います。</p>	交通局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	鹿児島大学 男性	<p>⑩ 今回、まちづくり論を受講して鹿児島市について考えるきっかけになった。鹿児島市のまちづくりについて考えることは、もっと若い世代から取り組んでもよいように感じた。</p> <p>現在、市では子どもミーティングという取組をしていると聞いたが、鹿児島市内の中高生20人程度ということで、意欲のある学生しか参加していないのではないかと思う。</p> <p>そこで、総合学習の時間等を活用して、鹿児島市のまちづくりについて考える取組ができないだろうか。</p> <p>小学生は、道徳の授業等で講義形式。中高生はワークショップ形式で実施できると良いように思う。</p> <p>また、大学生は、法文学生のみが参加できる授業ではなく、共通教育の部分で実施できると、他の学部の学生も参加でき、参加者の幅が広がるように感じた。</p> <p>若い世代の人材育成のために、より若い世代に鹿児島市について考える機会をつくることはできないか。</p>	<p>⑩ 昨年末に策定した本市の地方創生総合戦略では、若い世代の地元定着やUターンを図る観点で、郷土に対する愛着心を育むため、「大学との連携強化とふるさと教育の推進」を重点戦略の一つとして掲げています。</p> <p>鹿児島市内には、6つの大学がありますので、これらの大学と様々な施策や事業を連携し、情報を共有することで、まちづくりに生かしていくというのが、地方創生総合戦略です。</p> <p>今、お話をいただいたように、特に若い世代の方々がまちづくりに関心を持っていただくだけでなく、まちづくりに関する事業などに参加してもらうことが大事であり、そのような環境づくりが大切であると考えています。</p> <p>子どもミーティングについてですが、これは若い世代に対してまちづくりに関心をもってもらい、市民参画を促進することを目的として、中高生を対象として、開催しています。参加者は20名程度ですが、インターネットを通じての募集しておりますので、今後とも多くの皆さまが参加できる機会を増やしていければと思います。</p> <p>また、総合的な学習の時間等では、身近な郷土について学ぶ機会があります。道徳の授業では、郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心を持つことをねらったことをしており、ふるさとに対する関心、愛着を持ってもらう機会になっているかと思えます。</p> <p>夏休み期間中には、小学5、6年生と中学生を対象に、実際のまちづくりの様子を見学してもらい、まちづくりの課題やまちの様々な魅力を探ってもらう「こどもまちづくり探検隊」を開催しておりますので、そういったものにも参加して頂いているものと認識しています。</p> <p>また、今回は法文学部のみなさんに受講して頂いたところですが、多くの皆さんに受講していただけるよう大学との連携の中で、取り組んでいきたいと思っています。</p>	企画財政局 市民局 建設局 教育委員会	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成28年1月21日(木)11:00~12:00
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	鹿児島大学 男性	<p>⑪ まちづくり論を受講してきた中で、市職員から様々な媒体で広報しているが、なかなか市民に届かないということを聞いた。「市民のひろば」などで広報していると聞いたが、読む人は限られていると思うし、大学生は読んでいない人も多いと思う。</p> <p>また、市でもSNSなどを活用して情報発信しているが、比較的硬い文章になると聞いた。多くの人に情報を伝えるために、たとえば大学生などをPR大使に任命し、SNSを活用して鹿児島市のことをPRしてもらうのはどうか。他にも、情報発信力のある芸能人の活用等は考えられないだろうか。</p>	<p>⑪ ご指摘頂いたようなことなども課題でありましたので、初めて、広報紙「かごしま市民のひろば」12月号の特集記事を、鹿児島大学の学生4名と協働で制作しました。今後とも、若い世代の方々にこの広報紙をしっかりと読んでいくような工夫も必要だと思いますので、出来るだけ、若い方々に参画して頂ける機会を増やしていければと考えております。</p> <p>また、鹿児島市では、県外で活躍されておられる本市出身者等を“鹿児島市ふるさと大使”として委嘱しています。</p> <p>現在までに、京セラ名誉会長の稲盛和夫さん、俳優の西郷輝彦さん、指揮者の下野竜也さん、サッカーの遠藤保仁さん、政策大学院教授の大田弘子さん、女優のはしのえみさんに委嘱をし、様々な機会をとらえて、鹿児島の情報の発信をお願いしています。</p> <p>また、今年、作成したプロモーションビデオでは、HKT48の宮脇咲良さんにもご出演いただき、世界文化遺産や天文館ミリオネーションの紹介をしています。</p> <p>今後も、情報発信力のある著名人の方々にご協力いただき、観光PRをしていけたらと考えています。</p>	総務局 経済局	市長回答のとおり